

アンゴラ共和国月報

2020年7月号
在アンゴラ日本国大使館

主な出来事

【内政】

- ルアンダ州封鎖の期限が8月9日まで延長された(当館注:8月に入り9月8日まで延長)。
- 7月15日、政府はルアンダ州において市中感染が発生していることを宣言した。
- 7月28日、2020年修正予算案が国会で可決され、歳入/歳出合計額が約2.3兆クワンザ削減された。

【外交】

- 7月16日、アンゴラ保健省と中国国家衛生健康委員会は、5検査施設の新設に関する協力合意を締結した。
- 7月2日、ロウレンソ大統領はラマポーザ南ア大統領と電話会談を実施した。
- アンゴラは5~6月のOPEC減産不履行分を7~9月の追加減産で調整することに同意した。
- 7月8日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣はビデオ会議で開催されたパリフォーラム/ハイレベル大臣会合に出席した。
- 7月30日、ロウレンソ大統領は第17回中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)テレビ電話首脳会議に出席した。アンゴラ人外交官であるヴェリッシモ大使が今後5年間事務局長を務めることが決定された。

【経済】

- 2020年第一四半期のGDPは、2019年第一四半期と比べ1.8%減少した。
- フィッチ・レーティングスは、2020年実質GDP成長率を-2.3%から-4%に下方修正し、債務残高を108%と予測した。
- 6月の石油輸出額は5月と比べて約12%減少した。
- 政府はIMFに拡大信用供与37億米ドルに追加で7.4億米ドルの供与を要請した。

内政

1. COVID-19 関連措置

- (1) 7月9日、ルアンダ州およびクワンザ・ノルテ州カゼンゴ市の封鎖が8月9日まで延長された(当館注:8月に入り9月8日まで延長) [\(JA 7/8\)](#)。
- (2) 7月15日、政府はルアンダ州において市中感染が発生していることを宣言した [\(AP 7/15\)](#)。

- (3) 7月20日、ルアンダ州ヴィアナ市に位置する中華系ショッピングセンターにおいて中国国籍の労働者2名のCOVID-19感染が確認されたことにより、同施設が封鎖された。当地において最初の中国人の感染確認となった [\(AP 7/21\)](#)。

2. COVID-19 感染状況

(1) 7月31日時点における国内の累計感染者数は1,148名(内、累計死者数52名、累計治癒者数437名) [\(AP 7/31\)](#)。

(2) 7月20日までに2万2,621件分の抗体検査が実施され、その内1,044件分が陽性であった [\(AP 7/20\)](#)。

(3) 7月28日までにルアンダ州、クワンザ・ノルテ州に続き、クネネ州(2名)、カビンダ州(1名)、クワンザ・スル州(1名)、ベンゴ州(1名)でも感染が確認された [\(AP 7/28\)](#)。

3. 在外アンゴラ人の帰国

(1) 7月9日までに在外アンゴラ人合計5,771名が帰国した。その内2,158名がポルトガル、1,470名が南アフリカ、512名がブラジルからの退避であった [\(OBS 7/9\)](#)。

(2) 7月16日、ブラジルからの退避フライトが到着した(退避した人数に関する発表なし) [\(JA 7/16\)](#)。

(3) 7月24日、ポルトガルからの退避フライトにより約260名の在外アンゴラ人が帰国した [\(AP 7/25\)](#)。

(4) 7月25日、コンゴ(共)からカビンダ州に72名の在外アンゴラ人が退避した。陸路での移動であった [\(AP 7/26\)](#)。

4. 公共事業13案件の再開

7月1日、アンゴラ政府は作業が一時停止されていた13の交通インフラ事業を優先事業として再開することを決定した。カビンダ州およびザイレ州における港湾整備事業、新ルアンダ国際空港(NAIL)建設事業、鉄道整備事業等が含まれている [\(NAM 7/1\)](#)。

5. 学費の支払い猶予

教育機関が再開されるまでの間(未定)、公立・私立の全ての教育機関の学費の支払いを猶予することが決定された [\(NJ 7/10\)](#)。

6. 中央銀行による新紙幣の公表

7月7日、アンゴラ中央銀行(BNA)は、「2020シリーズ」と呼ばれるドス・サントス前大統領が図柄

から取り除かれた200、500、1000、5000、10000クワンザの新紙幣を公表した [\(AP 7/7\)](#)。

7. カビンダ州における戦闘

(1) カビンダ独立戦線(FLEC)はアンゴラ国軍との戦闘により5名の死者が出たことを発表した。それを受け、7月15日、ペドロ・セバ스티アオ大統領府武官長は、カビンダ州における情勢は「不安定化」してはいないと強調しつつも、戦闘の存在を認めた [\(A024 7/15\)](#)。

(2) 7月28日、FLECはアンゴラ国軍を襲撃し、合計10名(その内8名がアンゴラ国軍兵、2名がFLEC兵)の死者が出たことを発表した [\(VOA 7/28\)](#)。

8. 新刑事訴訟法の制定

7月22日、国会は植民地時代の法典(1929年)に代わる刑事訴訟法の制定を可決した。本制定により、公判前の司法介入を可能にする「予審判事」制度を導入することが決定された [\(AP 7/22\)](#)。

9. 地方選挙関連法案の可決

7月22日、国会は地方選挙実施に関わる地方自治体のシンボルに関する法案を可決した。各自治体のシンボルは、歴史や文化遺産などを考慮に入れた上で策定される予定である [\(JA 7/23\)](#)。

10. 事業再生・倒産関連法案の可決

7月23日、国会は事業再生・倒産関連法案を可決した。民間企業の倒産に関わる法的手続きを規定するものである [\(NAM 7/23\)](#)。

11. 修正予算案の可決

7月28日、2020年修正予算案が国会で可決され、歳入/歳出合計額は、以前の約15.8兆クワンザから約2.3兆クワンザ減少し、約13.5兆クワンザに修正された。また、原油の平均価格は55米ドル/バレルから33米ドルに修正された [\(AP 7/28\)](#)。

1. 他国政府・国際機関による COVID-19 関連協力

(1) 7月16日、アンゴラ保健省と中国国家衛生健康委員会は、5検査施設の新設に関する協力合意を締結した。中国企業 BGI (Beijing Genomics Institute) 社が 600 万米ドルで受注し、ルアンダ州、ウイジェ州、ルンダ・ノルテ州、ウアンボ州に設立される予定である。これにより、一日あたりの検査能力が約 6,000 件になる由。[\(JA 7/16\)](#)。

(2) EU は、アンゴラ政府の COVID-19 対策支援のため、追加で 2,000 万ユーロの拠出を表明した[\(AP 7/31\)](#)。

2. アンゴラ・南ア首脳会談

7月2日、ロウレンソ大統領はラマポーザ南ア大統領と電話会談を実施し、COVID-19 対策や OPEC 協調減産計画に基づく石油生産について話し合った他、リビア内戦やエチオピアが青ナイル川に建設を進める巨大水力発電用ダムを巡る緊張といった地域情勢について意見交換を行った[\(AP 7/2\)](#)。

3. OPEC プラス協調減産関連

(1) OPEC プラス協調減産計画に基づくアンゴラの 5~7月の最大生産量は 118 万バレル/日であるが、5月の生産量は 128 万バレル/日、6月は 124 万バレル/日であり、減産規定量を順守することができなかった[\(RE 7/2\)](#)。

(2) 7月15日、OPEC プラスの合同閣僚監視委員会(JMMC)がビデオ会議で開催され、アンゴラを含む減産未達国に対し減産順守が求められた[\(AN 7/17\)](#)。

(3) アンゴラは 5~6月の減産不履行分を 7~9月の追加減産で調整することに同意した[\(RE 7/7\)](#)。

4. EU・アンゴラ関係

(1) 7月31日、トマス・ウリクニ駐アンゴラ EU 大使は離任挨拶のため、ロウレンソ大統領を表敬した。2021年にブリュッセルで開催が予定されている「EU・アンゴラ投資会議」等に関し話し合われた[\(VA 7/31\)](#)。

(2) EU は、高等教育・科学技術・イノベーション省による高等教育支援「UNI. A0」事業継続のため、1,300 万ユーロを拠出した。同計画は、大学院における新たな研究科の設立や研究費の助成等を通して高度な専門家を育・支援することを目的としている[\(JA 7/7\)](#)。

5. 国連調整官による大統領表敬

7月8日、パウロ・バラデリ国連調整官は離任挨拶のため、ロウレンソ大統領を表敬した。また、国連がアンゴラ支援のために引き続き政府や市民社会等と協力していくことを協調した[\(AP 7/8\)](#)。

6. 債務返済猶予／繰延関連

(1) アウレリアン・マリ Moody's アナリストは、アンゴラ政府による対中債務繰延は民間債務を含まないため、Moody's の格付けには影響しないと発言した[\(MH 7/1\)](#)。

(2) エспанサオン紙は、対中債務繰延合意が実現した場合、2020年予算における歳出が約 16 億クワンザ削減されると予測した[\(EX 7/3\)](#)。

(3) ヴェラ・ダヴェス財務大臣はジョルナル・デ・アンゴラ紙のインタビューにおいて債務返済イニシアティブ (DSSI) への参加は未だ正式に決定しておらず、政府は二国間・多国間債務返済猶予の交渉をしている段階であると言及した。また、対中債務に関しては守秘義務があると述べ発言を控えた[\(JA 7/12\)](#)。

7. パリフォーラム／ハイレベル大臣会合

(1) 7月8日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣はビデオ会議で開催されたパリフォーラム／ハイレベル大臣会合に出席し、アンゴラが経済危機さえも改革の機会だと捉え、民間投資増大のために尽力する姿勢を示した[\(AP 7/8\)](#)。

(2) 世銀は、同会合においてアンゴラ政府が公表している債務関連情報が不透明であると指摘した上で、長期の二国間債務を含む内訳を公開すべきだと助言した[\(ME 7/17\)](#)。

8. アンゴラ・コンゴ（民）関係

(1) 7月5日、アンゴラとコンゴ（民）の国境地帯において、コンゴ（民）軍兵士とアンゴラ国境警察間内の銃撃戦が繰り広げられ、アンゴラ人警察官1名が射殺された(NJ 7/6)。

(2) 7月14日、エウジェニオ・ラボリーニョ内務大臣はコンゴ（民）内務大臣とビデオ会議による協議を実施し、国境線マークの確認、共同パトロール、警備関係者の定例会議等を通じた国境取締対策実施の可能性について意見交換を行った(A024 7/14)。

9. ロウレンソ大統領の ECCAS 首脳会議出席

7月30日、ロウレンソ大統領は第17回中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)テレビ電話首脳会議に出席した。アンゴラ人外交官であるヴェリッシモ大使が今後5年間事務局長を務めることが決定された(AP 7/30)。

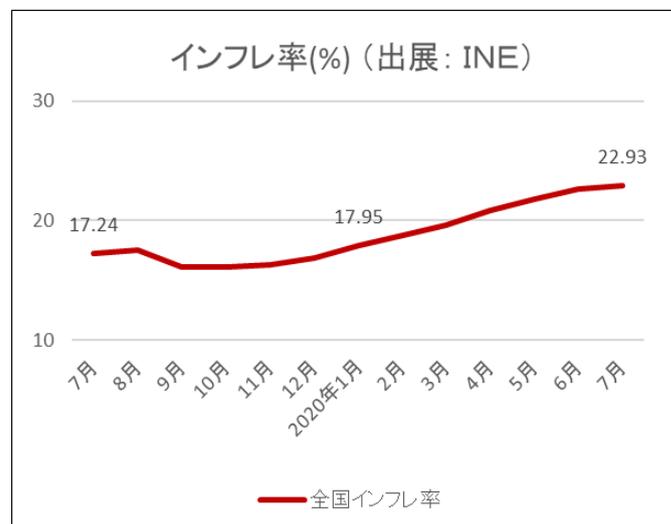
経済

1. 主要経済指標

(1) 物価

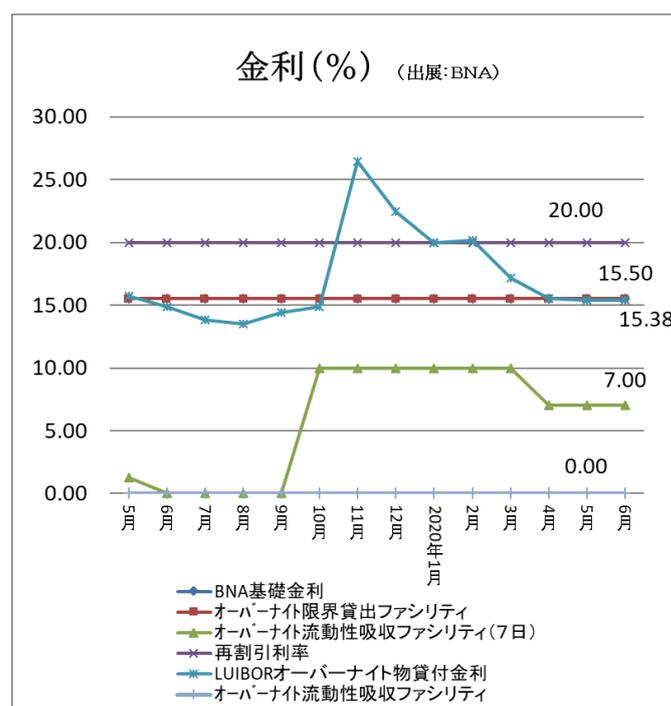
国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の7月期年間インフレ率は、22.93%。月間物価上昇率は1.78%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.02%)、衣類(0.13%)、家具、家財、メンテナンス(0.12%)、モノ・サービス(0.14%)。



(2) 金利

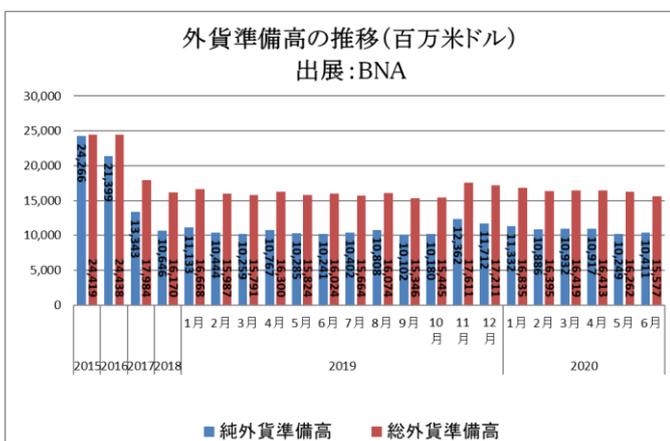
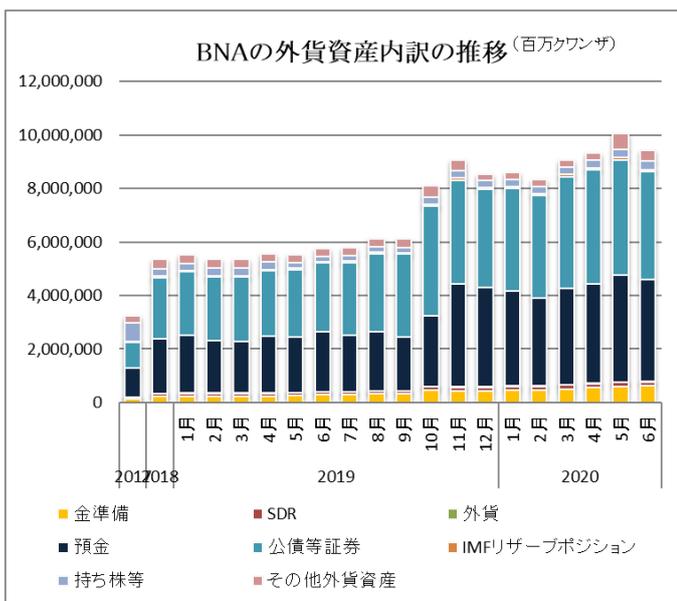
7月28日に金融政策委員会(CPM)が開催され、商業銀行の過剰流動資金に対し保管料を課することが決定した。



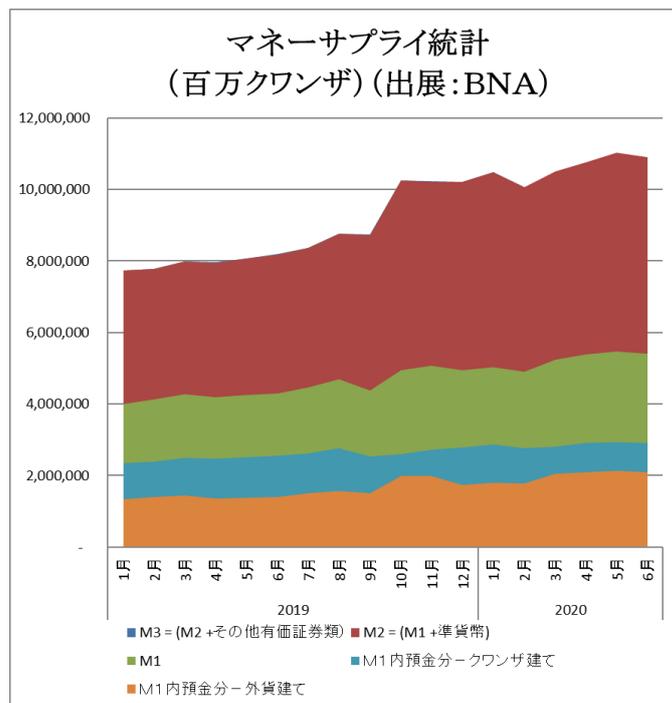
(3) 為替市場

7月31日、為替相場は1USD=557.88171 AKZで推移。

(4) BNA 発表の外貨準備高統計



(5) マネーサプライ統計

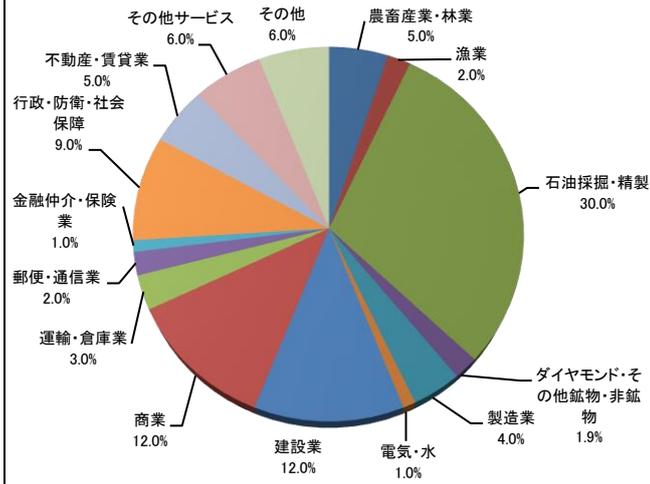


2020年(暫定)			百万クワンザ
4月	5月	6月	
10,767,322	11,037,132	10,901,125	M3 = (M2 + その他有価証券類)
10,762,311	11,032,053	10,896,381	M2 = (M1 + 準備貨幣)
5,392,661	5,467,777	5,407,681	M1
380,974	387,086	391,616	M1内現金等流通分
5,011,687	5,080,691	5,016,064	M1内預金分
2,908,690	2,942,957	2,915,452	M1内預金分-クワンザ建て
2,102,997	2,137,734	2,100,613	M1内預金分-外貨建て

(6) GDP 及び成長率

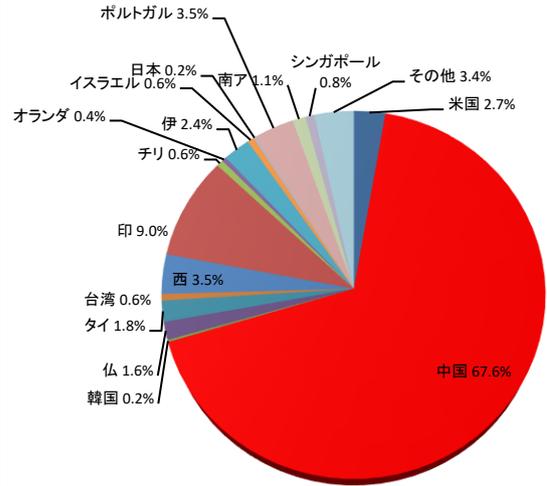


2019年 アンゴラGDP構造(%)



出典:INE (IV trimestre de 2019)をもとに作成

2019年原油輸出先国内訳

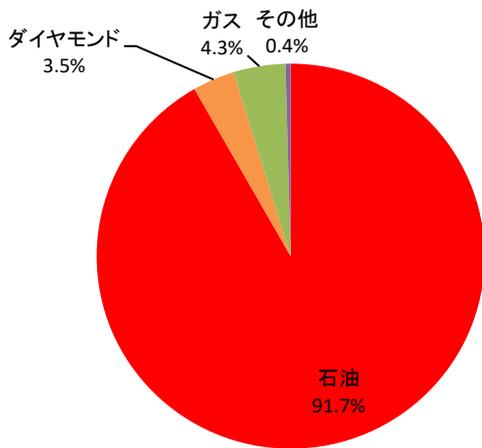


輸出総額:313億9624万米ドル

出典: BNA (2020)

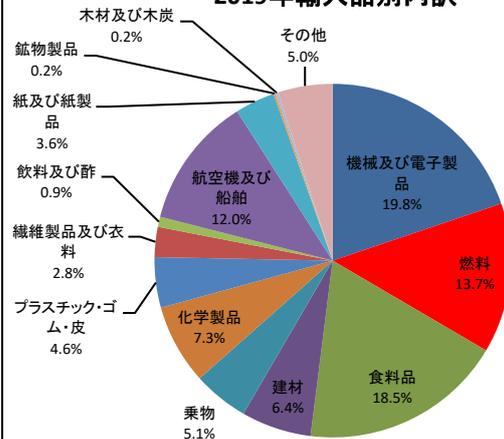
(7) 主要貿易統計

2019年輸出品別内訳



出典: BNA (2020)

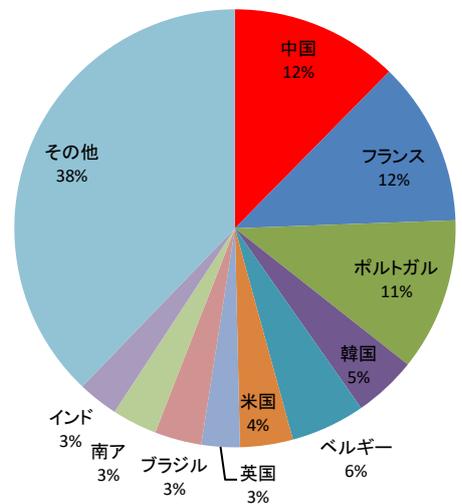
2019年輸入品別内訳



輸入総額:141億2710万米ドル

出典: BNA (2020)

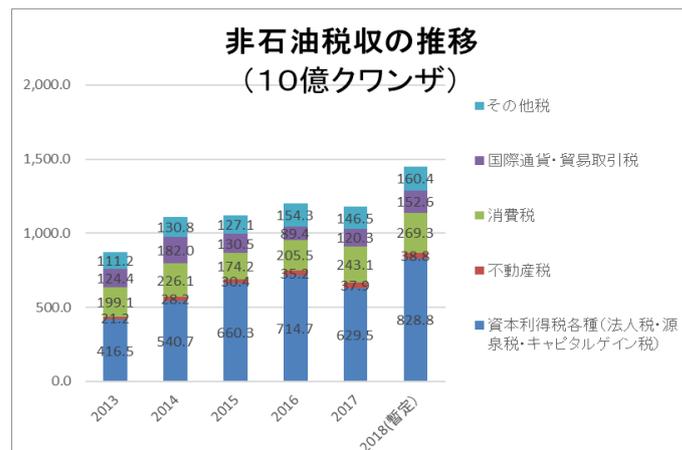
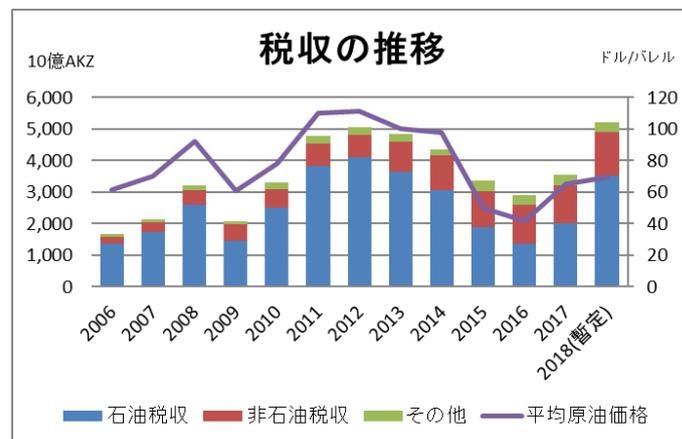
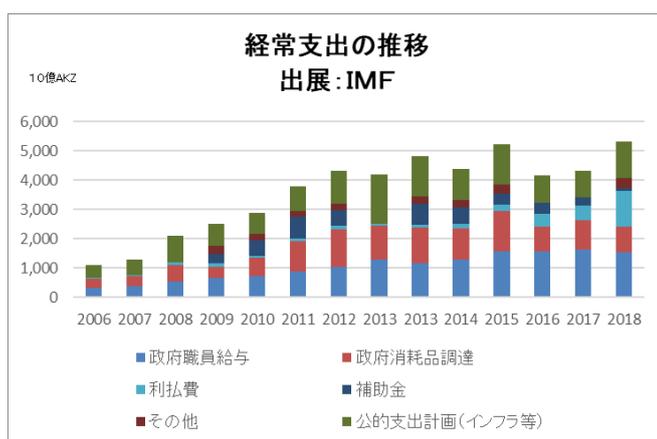
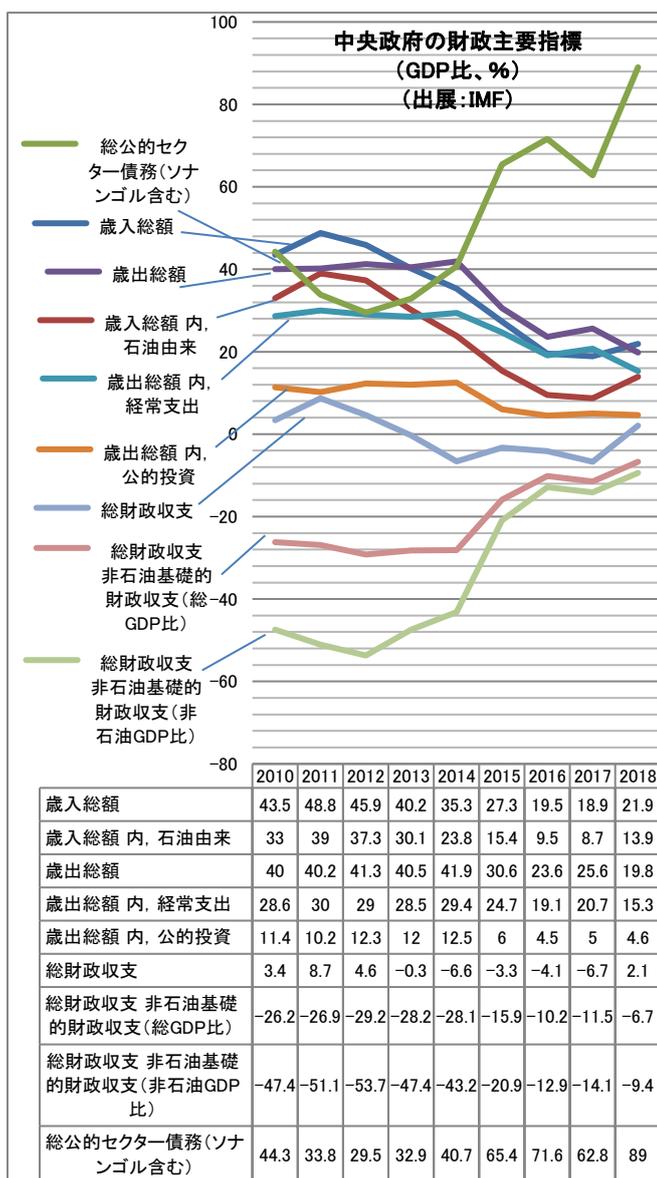
2019年輸入先国内訳



輸入総額:141億2710万米ドル

出典: BNA (2020)

(8) 財政主要統計



2. 大幅な景気後退予測

(1) フィッチ・レーティングスは、アンゴラの2020年対GDP比債務残高を108%と予測し、サブサハラ諸国の中で最も債務が多い5か国に含まれることを発表した。その他には、カーボ・ベルデ(157%)、コンゴ(共)(115%)、モザンビーク(113%)、ザンビア(110%)が含まれていた(NJ 7/1)。

(2) フィッチ・レーティングスは、アンゴラの2020年実質GDP成長率を-2.3%から-4%に下方修正した(ME 7/22)。

(3) アフリカ開発銀行(ADB)は、2020年実質GDP成長率を2.8%のプラス成長から最大-5.3%まで減少するマイナス成長に下方修正した。また、インフレ率を元々の11.2%から24.3%に大幅に修正した(NAM 7/9)。

(4) オックスフォード・エコノミクスは、油価の下落により、2019年と比べて2020年の対米ドルクワンザ相場が50%程度下落すると予測した(NJ 7/15)。

3. 2020年第一四半期のGDP減少

2020年第一四半期のGDPは、2019年第一四半期と比べ1.8%減少した。セクター別に最も影響を与えたのは、商業(-11.6%)、漁業(-7.9%)、ダイヤモンド(-5.2%)、金融(-5.1%)、石油(-1.7%)であった([EX 7/27](#))。

4. ソブリン・ファンドの資産減少

2012年設立時以降のソブリン・ファンドの累計損失額は合計5億4,300万米ドルであった。また、2018年の資産総額が44億3,500万米ドルであったのに対し、2019年は36億6,800万米ドルまで減少した。2020年はCOVID-19対策のために15億米ドル、地方自治体連携統合計画(PIIM)実施のために20億米ドルがソブリン・ファンドから拠出されるため、更に資産が減少する見込みである([EX 7/22](#))。

5. 石油関連組合によるPCR検査機器の寄贈

アンゴラ採掘・生産企業組合(ACEPA)は、国立保健研究所に対し、320件/日の検査が可能なPCR検査機器一台を寄贈した([AP 7/13](#))。

6. 石油関連

(1) 6月の石油輸出額は、合計約2,012億クワンザであり、5月の合計約2,253億クワンザと比べて約12%減少した([JA 7/17](#))。

(2) 7月21日、国家石油・ガス庁(ANPG)、シェブロン、ソナンゴル、Total、Eniは、カビンダ州の0鉱区シンガ油田における生産を開始したことを発表した([AP 7/21](#))。

(3) 7月13日、Exxon Mobilによるナミベ湾の深海層鉱区(30、44、45鉱区)での探査が承認された。しかし、本案件の取引が成立したのは1年程前であり、経済情勢悪化により同社の資本が不足していることから、投資継続が困難であると懸念されている([EX 7/22](#))。

7. 民営化公聴会の実施

7月7日、国営企業等管理・整理機構(IGAPE)は、金融機関の政府保有株式および繊維工場の民営化に

関する公聴会をビデオ会議で開催した([JA 7/7](#))。

8. レアアース事業で中国企業と提携

オーストラリア企業Pensana Rare Earth社は、ウアンボ州におけるレアアース採掘事業において中国長城工業集团有限公司(CGWIC, China Great Wall Industry Corporation)と提携することに同意した。CGWIC社に建設作業等を外注し、中国の商業銀行から全体の約85%の融資を受ける予定である([MW 7/20](#))。

9. 小農世帯向け融資枠の拡充

農業開発支援基金(FADA)は、国内全域の小農世帯を対象に、1年間で合計150億クワンザを融資する予定だと発表した([AP 7/12](#))。

10. アンゴラ開発銀行による肥料輸入資金拠出

アンゴラ開発銀行(BDA)は、政府が8~9月に肥料7.5万トンを入力するための資金合計約4000万米ドルを拠出する予定である([JA 7/28](#))。

11. 携帯端末製造工場の設立

英CONTEC社の子会社であるナイジェリア企業Afrione社は、経済特区(ZEE)に携帯端末の製造工場を設立しており、コロナ禍からの回復を待って操業を開始する。同社の投資合計額1,500万米ドルに加えて、アラブ首長国連邦の融資枠から約20億米ドルが拠出される予定である。生産能力は年間約10万台を見込んでいる([VA 7/6](#))。

12. Africellが4社目の通信キャリアに

7月6日、通信・情報技術・マスコミュニケーション省はAfricell社が通信事業の操業許可を取得したと発表した。同社は国内4社目の通信キャリアとなる([AP 7/7](#))。

13. IMFとの追加貸付交渉、レビューの延期

アンゴラ政府はコロナ不況を受け、2018年から実施されている総額37億米ドルの拡大信用供与(EFF)に追加で7.4億米ドルの供与を要請している。また、

7 月末に予定されていたサード・レビューの審査が
8 月末に延期された([EX 7/31](#))。

AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AN:Ango Noticias、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、 BB: Bloomberg、 CK:
Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche Welle、 EG: E-Global、
EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 FT: Financial Times、 FM: Forum Macao、 JA:
Jornal de Angola、 JN: Jornal de Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、 MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW:
Mining Weekly、 NAM: Noticias ao Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、
RE: Reuters、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、 VG: Vanguarda、 VOA: Voice of America、 XN: Xinhua Net